



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ 地域コミュニティを核とした 天栄だからできる少人数教育

2020.10.16



教育委員会だより No.111

愛村心（1尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

第2回小中学校統合委員会

9月27日（火）「文化の森てんえい」において、第2回統合委員会を開催しました。第1回は書面で開催のため、委員は今回が初めての顔合わせとなりました。

今回は、6月実施のアンケート等の結果報告の後、統合新校の学校づくりの理念や方針、建設位置、学校支援体制、保育所、幼稚園の教育環境整備等について、天野委員長（福島大学特任教授）の進行によって協議しました。村としての育てたい子どもの姿や身に付けたい資質や能力を明確にビジョンに示すこと、各地区の伝統を継承する視点や湯本小学校との交流の視点も大切にしたいことなど、各委員それぞれの立場から意見が述べられました。

今回の協議を踏まえ、第3回の統合委員会では、意見・要望をまとめる予定となっています。



統合委員会

学校運営協議会第2回学校訪問 （広戸小・大里小・天栄中）

10月5日（月）に学校運営協議会委員が、広戸小、大里小、天栄中学校を訪問し、授業や学校施設を見学したあと、各校の課題等について協議しました。

広戸小では、コロナの影響下での行事の実施判断の難しさや通学路の安全確保について、大里小では、太鼓の取組の継続や複式について、天栄中では、修学旅行等の校外行事、自転車事故、不登校等を話題として話し合いました。さらに、地域の要望や協力が得やすい地域と学校のあり方について熱心に意見を交わしました。学校がもっと弱みの部分を地域にみせること、子どもを通して積極的に地域に関わっていくことなど、今後の地域、学校の望ましいあり方につながる有意義な話し合いとなりました。

合同引き渡し訓練を実施

10月8日（木）に村内全ての幼・小・中学校合同で実施しました。緊急時における避難や引き渡しの仕方を確認すること、子どもや教職員、保護者の防災意識や知識を高めることを目的に実施しました。今年は、全員の引き渡し完了するまで訓練を継続したり、新型コロナウイルス感染症対策を講じたりと、今現在の状況を想定した訓練を実施でき、新たな課題や改善点を見つける重要な訓練となりました。



広戸小学校



牧本小学校



天栄中学校



<<<生涯学習事業>>>

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

○2分の1成人式

今年度、新型コロナウイルス感染症対策として夏の成人式と別開催になった2分の1成人式が、各小学校協力のもとそれぞれの小学校で開催されました。今年度10歳を迎える2分の1成人者は、広戸地区21名、大里地区5名、牧本地区13名の計39名で、式では全員の名前が呼名され、代表の児童に各小学校の校長先生から2分の1成人証書と記念品が授与されました。

また2分の1成人者が10年後の自分や家族に向けて書いたメッセージ「20歳の自分へ」については、村で大切に預かり、成人式の際、本人に返却されます。



○てんえい歴史教室(第1回目)

9月27日(日)午後1時よりてんえい歴史教室に17名の参加者を得て開催しました。講師に須賀川文化振興課文化財係の菅野学芸員を迎え、今年は奥州仕置から430年を迎えその当時の岩瀬地方について講演があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

